



第53回 湘南ひらつか七夕まつり

## 改選後初の定例会開く

### 市長給料削減案は否決

6月定例会

平成十五年市議会六月定例会は、六月三日から六月二十五日まで、会期三日間で開催しました。

今定例会では、住民基本台帳カードの交付等に係る「平塚市手数料条例の一部を改正する条例」など、条例の一部改正に係る議案が五件、助役や収入役等の選任同意を求める人事案件の議案が四件、一般会計および特別会計の補正予算が三件、真田地区の公共下水道施設の設置事業に伴う委託契約の締結の議案が二件、以上十四議案が市長から提案され、十二議案を原案どおり可決、「平塚市特別職員

の給与に関する条例の一部を改正する条例」および一般会計補正予算は否決、「平塚市小児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」は、修正可決しました。

議員提出の会議案では、「税源移譲を基本とする三位一体改革の早期実現を求める意見書」を含む四会議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

また、平塚市が出資している財団法人平塚市開発公社など五団体の十四年度事業報告および収支決算と十五年度事業計画および予算の報告等もありました。

## 小児医療費助成の条例改正

### 原案を修正し可決

小児医療費の助成事業は、小児に係る医療費の一部を助成することにより、その養育者の経済的な負担を軽減するとともに、小児の健康の増進を図ることを目的として、平成七年十月一日から実施してきました。

今回、対象枠の拡大を図るため、小児医療費助成の通院対象年齢を現行の三歳児から四歳児までに引き上げるとともに、これまで一歳児から三歳児まで所得制限を設けていたものを四歳児まですべて所得制限を撤廃し、

歳児までから就学前までに拡大を図り、現行制度に設けられている一歳以上からの所得制限は維持し、施行日を平成十六年四月一日とする修正案が提出され、この修正案を賛成多数で可決しました。

この結果に基づき本会議最終日に委員会審査報告が行われ、採決の結果、修正案を賛成多数で可決しました。

## 競輪事業・介護保険事業特別会計

### 34億円余を追加

六月定例会では、十五年度の一般会計および競輪事業特別会計と介護保険事業特別会計の補正予算が市長から提案されました。

一般会計では、民生費において、小児医療費助成経費が提案されました

競輪事業特別会計では、先に関催された記念競輪に係る車券発売収入の増に伴い、競輪事業費や公営企業金融公庫納付金など三億七千四百八十八万〇〇〇円を措置するもので

助役選任に同意  
落合氏と小川氏  
今定例会の初日には、六月九日に任期満了となる助役を選任する追加議案が市長から提案されました。

助役には、市民部長の落合晋一氏(市内田村)と経済部長の小川雅彦氏(市内大神)を新たに選任するもので、議会で両氏とも適任者として

収入役には前田氏  
選任に同意  
任期満了となっていた収入役の選任についても、議会の同意を求める追加議案が定例会最終日に市長から提案されました。

収入役には、新たに前田義光氏(厚木市下依知)を選任するもので、議会では、適任者として同意しました。

人権擁護委員  
推薦に同意  
平成十五年九月三十日をもって人権擁護委員の内一人が任期満了を迎えることとなり、その後任として、内田武功氏(市内夕陽ヶ丘)を推薦するに当たり、議会の意見を求められました。

地方自治に貢献  
2議員表彰受ける  
先般、長年にわたり地方自治の発展に貢献したとして田中幸雄議員(日本共産党平塚市議会議員団)、水野泰助議員(平塚なでしこ21議員団)は、県知事から神奈川県地方自治功労者の表彰を受けました。

議会で、今定例会最終日の冒頭に議長から授章の披露があり、同僚議員が、祝辞を述べて、その栄誉をたたえました。